

小学校 第6学年 学級活動(1)指導案

平成27年11月13日(金)

児童数

指導者

1 議題 「思い出に残る楽しい「6年のパーティーをしよう」

2 議題について

(1)児童の実態

本学級の児童は、様々な課題に素直に取り組むことができる。また、3名の男子と5名の女子の仲も良く、温かい集団である。しかし、素直な反面、受動的な面が気にかかる。また、まだ幼いところがあり語彙が乏しく自分の考えをわかりやすく述べるのが苦手な児童もいる。

1学期は、「1年生をやさしくリードしよう」と、「春の遠足と修学旅行を成功させよう」という議題で話し合い取り組んできた。1年生との関わりでは、4月は、朝自習の読み聞かせ、昼は給食当番、班掃除は雑巾がけをやさしく指導してきた。春の遠足は、雨天のため、当日体育館での活動となってしまったが、みんなで計画した「最高の春の遠足にしよう!!」のゲーム計画をバージョンに切り替え意欲的に取り組んだ。

また、1学期後半は、6年保護者から地域の催しである「かわうそフェスティバル」への出店要請があった。そこで、「かわうそフェスティバルの6年出店のゲームを成功させよう」という議題で話し合い、工夫を加えて楽しく取り組むことができた。

このような学校行事や縦割り班活動などの取り組みを通して、少しずつ主体性と自己表現力が育成されてきている。

(2)議題選定の理由

6年生前半は、学校全体のことを考えた議題で話し合い、実践してきたが、どちらかという活動意欲があまりにくい議題だったように思えた。運動会も終わった10月初め、議題箱に「ハロウィンパーティをしたい」と提案され、児童の意欲あふれる議題となった。仮装をして各学級を回り、自分たちも楽しみ、みんなにも楽しんでもらえる取り組みとなった。

それを受け、今回は、「ゲーム大会をしよう」「料理をしよう」「パーティーをしよう」等、自分たちの学級のみで実践してみたいという議題が提案された。計画委員会がこれらを、自分たちが卒業まで半年、もっと仲良くなれるための「6年のパーティーをしよう」とまとめ、議題に選定してみんなで決定した。どんなパーティー内容にするかが大切であるが、「どんなやり方で、どんな準備が必要か」「どんな役割があるか」等についても、互いに意見を出し合い協力して実践することを通して仲間意識が育つ場としたい。また、この取り組みでも学級目標の「笑顔でやる気いっぱい学級」を意識させるとともに、学級の課題でもある主体性と自己表現力の育成を図りたい。

キャリア教育の視点では、相手が理解しやすいように工夫しながら、自分の考えや気持ちを伝えようとする力の育成をめざしたい。

3 第5学年及び第6学年の評価規準

集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活についての 知識・理解
学級や学校の生活の充実と向上にかかわる問題に関心をもち、他の児童と協力して自主的に集団活動に取り組もうとしている。	楽しく豊かな学級や学校の生活を作るために話し合い、自己の役割や責任、集団としてのよりよい方法などについて考え、判断し、信頼し支え合って実践している。	みんなで楽しく豊かな学級や学校の生活を作ることの意義や、学級集団としての意見をまとめる話し合い活動の効率的な進め方などについて理解している。

4 事前の活動

【計画委員会の活動】

日時	児童の活動	指導上の留意点	目指す児童の姿と 指導方法
11月6日（金） 業間休み	・議題の選定をする ①「ゲーム大会をしよう」 ②「料理をしよう」 ③「パーティーをしよう」	・出てきた意見や提案から「議題」を決めさせる。 ・選定した議題について帰りの会で全員に知らせ、承認を得る。	【関心・意欲・態度】 ・楽しく豊かな学級や学校の生活を作るために、進んで議題を選ぼうとしている。 〈観察〉 【知識・理解】 ・6年のパーティーをするために話し合わなければならないことを理解している。 <計画委員会活動計画>
11月9日（月） 昼休み・放課後	・活動計画と学級会ノートを作成する。	・提案理由に自分たちの思いや意義が入るように助言する。 ・話し合う内容や順序、時間配分を考えて計画を立てるように助言する。	
11月10日（火） 昼休み・放課後	・全員の学級会ノートに目を通す。 ・必要に応じて短冊の準備をする。	・話し合いの見通しが持てるようにする。	
11月11日（水） 業間休み 昼休み	・話し合いの進め方についてシミュレーションをする。		

【学級全員の活動】

日時	児童の活動	指導上の留意点	目指す児童の姿と 評価方法
11月6日（金） 帰りの会	・議題を決定する。	・計画委員会の提案をもとに全員で決定する。	【関心・意欲・態度】 ・楽しく豊かな学級や学校の生活を作るために、進んで議題を選ぼうとしている。〈観察〉

11月9日（月） 帰りの会	・学級会ノートに自分の考えを記入する。	・決まっていること（条件）が共通理解できるように必要に応じて助言する。	【思考・判断・実践】 ・6年のパーティーをするために、目的にあった意見を考え、判断し、ノートに書くことができる。 ＜学級会ノート＞
11月11日（水） 朝の会	・教師からの言葉等が書かれた学級会ノートを受け取る。	・学級会ノートに励ましの言葉等を記入し、話合いの意欲を高める	
11月12日（木） 放課後	・自分たちの意見がきちんと伝えられるよう必要な場合は、カードや図の準備をする。	・学級会ノートを活用して提案理由を確認させるとともに、一人一人に自分の意見をもたせる。	

5 本時の展開

（1）本時のねらい

○6年生8人が楽しめる、6年のパーティーの計画を考えることができるようにする。

キャリア教育でつきたい力

◎相手が理解しやすいように工夫しながら、自分の考えや気持ちを伝えようとしている。

【人間関係形成・社会形成】

（2）児童の活動計画 （別紙）

（3）教師の指導計画

話合いの順序	指導上の留意点 ☆・・・キャリア教育視点での留意事項	目指す児童の姿と 評価方法
1 始めの言葉 2 計画委員の自己紹介 3 議題の確認 4 提案理由やめあての確認 5 決まっていること 6 話合い ① どんなパーティーの内容にするか	・自分のめあてが言えるように、事前に指導する。 ☆相手が理解しやすいように工夫しながら自分の考えや気持ちを伝え、理由をつけて発表できるように指導する。 ・提案理由を意識し、6年のパーティーを楽しくしようという内容を提案できるように助言する。 ・自治的活動の範囲を超えそうな場合は必要に応じて助言する。 ・発言者が偏らないように助言する。	【思考・判断・実践】 ・6年のパーティーを楽しくしようという提案理由を踏まえた内容や準備について考え、発言している。＜観察・学級活動ノート＞ 【知識・理解】 ・話合いの進め方や約束を理解している。 ＜観察・計画委員会活動計画＞

② どんなやり方で、 どんな準備が必要か (どんな役割) 7 決まったことの発表 8 先生の話 9 話合いの振り返り 10 終わりの言葉	・必要なら自分の考えに固執せずに、折り合いをつけながら話合いを進めることについて助言する。 ・提案理由を意識した発言や学級全体を考えた建設的な発言、意欲的に参加していた児童を称賛するとともに、今後の課題を伝える。 ・計画委員へねぎらいの言葉を掛けるとともに、実践への見通しをもたせ、事後の活動への意欲が高まるように声掛けをする。 ・良かった点や課題について自己評価するとともに、友達の良かった点についても相互評価ができるように助言する。	◎キャリア教育 【人間関係形成・社会形成】 ・相手が理解しやすいように工夫しながら、自分の考えや気持ちを伝えようとしている。 <観察>
---	---	--

6 事後の活動

日時	児童の活動	指導上の留意点	目指す児童の姿と評価方法
11月16日(月) 帰りの会	・決まったことを学級活動コーナーに掲示する。	○学級会で決まったことが分かりやすく掲示できるように計画委員に助言する。 ○役割を複数名で担当し、協力して活動できるようにする。	【関心・意欲・態度】 ・準備に進んで取り組もうとしている。 <観察> 【思考・判断・実践】 ・目的を考え、自分の意見を出し、友達と協力し、責任をもって準備したり参加したりしている。 <観察・振り返りカード・感想文>
11月17日(火) ～27日(金) 休み時間 放課後	・パーティーの準備や練習	○協力したり、工夫したりして活動している児童を称賛する。	
11月30日(月) 5・6校時 放課後	・6年のパーティー ・終了後感想を書く。	○自分を振り返り、今後に生かせるようにするとともに、友達のよいところについても認められるように助言する。	

